

令和8年度 事業計画

－在宅医療・介護連携推進事業－

－在宅医療に関する市民向け相談窓口業務－

一般社団法人徳島市医師会

徳島市在宅医療支援センター

地域のめざす理想像：医療と介護を必要とする状態になっても、住み慣れた家で自分らしい生活を続けられるよう、
(省略版) 医療・介護の関係機関が連携して、切れ目のない在宅医療、介護の提供体制の構築を目指す。

徳島市（介護保険の地域支援事業）

委託

開催

徳島市在宅医療・介護連携推進協議会

推進事業の方針等決定

在宅医療・介護連携推進事業【徳島市医師会】 ※徳島西医師会と連携

在宅療養における4つの場面〔①日常の療養支援〕〔②入退院支援〕〔③急変時の対応〕〔④看取り〕ごとに達成すべき目標や課題を整理して、PDCAサイクルに沿って事業を展開。

ア 現状分析・課題抽出・施策立案（計画）

（ア）地域の医療・介護の資源の把握

- ①徳島市内の医療・介護資源の整理
- ②地域資源情報一覧の運用及び情報更新

（イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

- ①多職種連携会議の開催
- ②在宅医療整備ワーキンググループの開催
- ③三師会在宅連携委員会の開催
- ④在宅医療に関する各種アンケートの実施

（ウ）切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進

- ①徳島あんしんタッグの開催
- ②在宅療養支援診療所24時間ネットワークの運用と連携訪問看護ステーションとの連携
- ③24mini(カンファレンス)の開催及び運用(在宅療養支援診療所24時間ネットワークを小グループ化)
- ④在宅医療ネットワーク(TIZI-NET)の運用と後方支援病院ネットワーク(BBN)との連携
- ⑤とくしまスクエア会議の開催(がん診療連携拠点病院・ホスピス・行政・医師会の連携会議)
- ⑥在宅医療周辺サポートネットワークの運用及び他科への拡充
- ⑦四国四市医師会在宅部会(web会議)の開催
- ⑧四国四市医師会在宅医療・介護支援センター職員web会議の開催
- ⑨ニコイチ会議の開催(地域包括支援センターと在宅医療支援センターの連携会議)
- ⑩在宅医療連携委員会の開催

イ 対応策の実施

（ア）在宅医療・介護連携に関する相談支援

- ①医療介護従事者からの相談窓口

（イ）地域住民への普及啓発

- ①在宅医療市民公開講座の開催
- ②webを活用した在宅療養支援診療所及び在宅医療整備への取組み紹介
- ③在宅医療・介護を必要とする方への災害時の啓発
- ④YouTubeを活用した在宅医療に関する動画の配信
- ⑤在宅医療漫画を活用した普及啓発

（ウ）医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための研修などの地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援

- ①ケアマネタイムの運用
- ②多職種連携情報共有システム「バイタルリンク」の運用
- ③共通連携「トクシノート」の運用
- ④徳島県退院支援の手引きの普及及び徳島保健所と連携した入退院支援への取組み
- ⑤キーパーソン3の開催
- ⑥三師会企画多職種のための在宅医療研修会の開催
- ⑦在宅医療よろず勉強会の開催

ウ 対応策の評価の実施（徳島市主体）、改善の実施

在宅医療に関する市民向け相談窓口業務（徳島市から委託）

- ①地域住民からの在宅医療に関する相談窓口

令和8年度 事業計画 概要

赤字：新たな取組み内容

ア 現状分析・課題抽出・施策立案（計画）			
必須項目	実施項目	実施目標	実施回数
(ア) 地域の医療・介護の資源の把握	①徳島市内の医療・介護資源の整理	徳島市内の医療・介護資源を把握して整理するとともに、月ごとの増減推移を調べるなど、今後の取組みに反映させる。	通年
	②地域資源情報一覧の運用	歯科や薬局、訪問介護等の医療・介護事業所の情報を一覧表にし、ホームページへの掲載や冊子による配布を通じ、医療・介護従事者及び地域住民に正確な情報を提供する。令和8年度は、掲載情報の変更有無を確認して情報を更新するとともに、新たに掲載を希望する施設が増えるよう働きかける。	通年
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	①多職種連携会議の開催	在宅医療の提供に関する課題等を抽出し、多職種で解決策を協議する。PDCAサイクルに基づき、解決策を地域に還元して循環させるための会議と位置づける。	年1回
	②在宅医療整備ワーキンググループの開催	多職種連携会議等で抽出された解決策を具現化するためのワーキンググループ。具現化された解決策は、行政及び各職能団体から地域に向けて周知する。令和8年度は「在宅医療・介護を必要とする方への災害時の啓発」の地域住民向け冊子等の制作を進める。	年1回
	③三師会在宅連携委員会の開催	三師会が取り組む在宅医療整備の情報を共有するとともに、日常の療養支援や看取りに関し、連携しながら地域における展開を目指す。	年1回
	④在宅医療に関する各種アンケート調査の実施	専門職や地域住民等に対し、在宅医療に関するアンケート調査を実施し、在宅医療の現状や在宅医療と介護の連携の課題等を把握し今後に反映させる。	随時
(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進	①徳島あんしんタッグの開催	徳島市版地域包括ケアシステムの構築に向け、医療と介護の連携体制の構築、様々な課題や問題等について行政と意見交換、検討する場とする。	年1回
	②在宅療養支援診療所24時間ネットワークの運用と連携訪問看護ステーションとの連携	お互いが副主治医となるセーフティーネットとして、在宅医同士の負担軽減を図る。また、ネットワーク登録医と訪問看護ステーションが連携し、急変時における24時間対応が可能な体制を整備するため、連携会議等を開催する。令和8年度は、特定行為に対応可能な訪問看護ステーションなど、実際の連携に有効となる情報を発信するよう努める。	年1回
	③24mini(カンファレンス)の開催及び運用 (在宅療養支援診療所24時間ネットワークを小グループ化)	在宅療養支援診療所24時間ネットワークを小グループ化したモデル運用を継続し、更なる在宅医の負担軽減と連携体制の強化に繋げる。	随時
	④在宅医療ネットワーク(TIZI-NET)の運用と後方支援病院ネットワーク(BBN)との連携	かかりつけ医のいない患者に対して在宅医療を提供できるネットワークを運用するとともに、在宅医療の継続が困難となった場合に入院受入れが可能な病院ネットワークと連携し、安心して在宅医療が受けられる体制の整備を図る。また、ネットワーク間の連携強化を目的とした会議等を開催する。令和8年度は、患者やその家族にとって身近なケアマネジャーや訪問看護ステーション等の医療・介護関係者からの依頼についても、必要に応じて対応していく。あらためて、当該ネットワークの啓発に努め、登録医師の案内を行っていく。	年1回
	⑤とくしまスクエア会議の開催 (がん診療連携拠点病院・ホスピス・行政・医師会連携会議)	医療機能の異なる医療機関同士(がん診療連携拠点病院・後方支援病院・在宅療養支援診療所・ホスピス)の縦の連携を強化する。行政の主体的関与のもと地域全体で切れ目なく患者を支える体制を目指す。令和8年度は、共通する統計情報を活用するなど、情報の質向上を図る。	年1回
	⑥在宅医療周辺サポートネットワークの運用及び他科への拡充	かかりつけ医が自身の診療科以外の専門医と連携し、総合的に在宅医療が提供できる体制を構築する。現在のネットワーク(耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、眼科)の運用を継続するとともに、精神科医師から相談助言を得られる体制づくりの検討を進める。	通年
	⑦四国四市医師会在宅部会(web会義)の開催	四国の県庁所在地における在宅医療の整備状況について情報共有を図り、各地域の取組状況を相互に共有・還元することで、今後の活動に活かす。令和8年度は、ACPの啓発を議題として開催を進める。	年1回
	⑧四国四市医師会在宅医療・介護支援センター職員web会議の開催	実務者であるコーディネーター同士のweb会議を開催し、事業実施における課題や解決策等について意見交換し、今後の取組みの参考とする。	年1回
	⑨ニコイチ会議の開催 (地域包括支援センターと在宅医療支援センターの連携会議)	市内唯一の地域包括支援センターと在宅医療支援センターが定期的に情報共有、意見交換を行い、徳島市版の地域包括ケアシステムの構築を目指す。	随時
	⑩在宅医療連携委員会の開催	在宅医療・介護連携推進事業等のうち、特に医師に関わる取組みについて意見交換、情報共有を図り、事業の取組みに反映させる。	年1回
イ 対応策の実施			
必須項目	実施項目	実施目標	実施回数
(ア) 在宅医療・介護連携に関する相談支援	①医療介護従事者からの相談窓口の運用	地域の医療・介護関係者から在宅医療・介護連携に関する相談等を受け付け、連携に関する調整や情報提供等を通じて、多職種を支援する。	通年
	(イ) 地域住民への普及啓発	①在宅医療市民公開講座の開催	患者や家族、地域住民等が在宅医療や介護を理解し、在宅医療を新しい選択肢の一つと捉えていただく機会として開催する。令和8年度は、若年層の方々にも関心を持っていただけるよう他地域の取組みを参考に開催形態の検討を進める。
(ウ) 医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための研修などの地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援	②webを活用した在宅療養支援診療所及び在宅医療整備への取組み紹介	在宅医療を提供する医療機関の紹介や徳島市における在宅医療整備への取組み内容等をホームページでタイムリーに紹介する。「とくしま市の在宅医療と介護(第2版)」について、新規団体を反映した情報更新を検討する。	通年
	③「在宅医療・介護を必要とする方への災害時の啓発」	「在宅医療・介護を必要とする方への災害時の啓発」をテーマとした冊子をベースに、Web版の制作を検討する。	随時
	④YouTubeを活用した在宅医療に関する動画の配信	過年度に開催した在宅医療市民公開講座や在宅医療関連研修会等について、より多くの地域住民等に啓発できるよう動画投稿サイトYouTubeで公開する。	通年
	⑤在宅医療漫画を活用した普及啓発	絵で見て理解できる在宅医療を題材とした漫画について、YouTubeデジタル版を活用して啓発をさらに進める。令和8年度は、より多くの若年層の方々にも関心を持っていただけるよう、短編バージョンを編集するなどの工夫を展開する。	通年
	①ケアマネタイムの運用及び情報更新	ケアマネジャーと医療従事者の連携促進のため、診療所・病院・歯科診療所・薬局・訪問看護ステーションごとに相談可能な時間帯や方法等について、ホームページに掲載する。	通年
在宅医療に関する市民向け相談窓口業務	②多職種連携情報共有システム「バイタルリンク」の運用	徳島県医師会導入の「バイタルリンク」を使用。ICTを活用して患者情報をタイムリーに共有することにより、多職種連携を促進する。令和8年度は、円滑な活用と理解の深化を図るため、活用の実例を共有するなど、利用する医師や看護師に関心を示していただける研修会を実施する。	通年
	③共通連携「トクシノート」の運用	共通連携ノートの配布、活用を通じて、患者(利用者)の状態変化等に応じた、医療・介護関係者間で速やかな情報共有が行われる体制を整備する。引き続き、認知度向上に向けて積極的に広報活動を行う。令和8年度は、ACPIに関する啓発を進めるため、徳島県がん診療連携協議会作成の「もしもの時のために」をノートファイルに一体化した配布を進める。	通年
	④徳島県退院支援の手引きの普及及び徳島保健所と連携した入退院支援への取組み	「入退院支援の手引き」を様々な場面で広報するとともに、徳島市においてより良い入退院支援の体制が構築できるよう徳島保健所と連携して取り組む。また、徳島保健所並びに徳島市と連携し、急性期病院への入退院支援の実施率向上に向けた働きかけを進める。	通年
	⑤キーパーソン3の開催	医師・訪問看護師・ケアマネジャーの連携促進を目的に、4つの場面に関連した症例検討を通してお互いの距離感を掴み、患者を中心にした一体的な在宅医療の提供を目指す。	年1回
	⑥三師会企画多職種のための在宅医療研修会の開催	三師会(医師会・歯科医師会・薬剤師会)が交代で企画し、症例等を通じて多職種の資質向上と標準化を図る機会を提供する。令和8年度は徳島市医師会が企画を担当し、生成AIなどの新しい分野をテーマとして開催する。	年1回
	⑦在宅医療よろず勉強会の開催	在宅医療に関する診療報酬上の疑問や必要書類の整備等について、医師を中心に多職種が学ぶ機会を設け、適切な報酬算定が行える体制支援を目指す。また、在宅医療に参入する医師を増やす機会とする。令和8年度は、診療報酬改定をテーマとして開催する。	年1回
	①地域住民からの在宅医療に関する相談窓口業務	地域住民からの在宅医療に関する一般相談に応じるとともに、必要に応じて適切な機関に繋ぐ等、在宅医療に関するワンストップ窓口機能の役割を担う。	通年